

スピリチュアル物語

168話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75 90分\$110

メール相談 簡易コース\$11 / 通常コース\$33



「共感と同調圧力は全くの別物：」マジヨリアルはまずはマグワートの言葉を繰り返して、続けてこう言った。「でも：共感と同調は同じなので？」「確かに：共感とは？」「確かに：共感とは？」「確かに：共感とは？」「確かに：共感とは？」

相手の感情を自分も共有しているが、同調は感情を共有しているかいないかに関わらず表面上合わせている状態とも言え、共感のほうは心と言動が一致しているが、同調は必ずしもそうとは限らず、心の内では意気投合していても、表面上は合わせている、という場合も含まれるわけじゃ」「というところは：共感と共感のレベルでの深い共鳴、同調はその共鳴の表れである場合と共感を装っている場合とがある、ということですか？」「マジヨリアルが確認をする。「まあ、そういうことじゃな」

「それで：共感していても同調しろよ、と暗黙の内に、また時にはあからさまに強要することが同調圧力っていうわけか」「ウィザットが冴えた顔をする。「そういうことじゃ：」。似た様なもので同情というものもあるが、これは、共感の一種で、不幸な状況にある、またはそう見える人に対しての哀れみの気持ちから出る思いやりじゃが、共感とはまた少し違うスタンスとしての配慮が必要じゃ」



★これまでのお話(1~167話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 8月26日号につづく